

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	クローバキッズ茜部		
○保護者評価実施期間	7年 2月 1日		～ 8年 3月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	7年 2月 1日		～ 8年 3月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い空間を活かした環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容に応じて空間を使い分ける工夫や、安全面に配慮した環境設定を行い、お子さまが落ち着いて過ごせる空間づくりに取り組んでいます。 ブランコやロッククライミングブランコやロッククライミングなどの設備も活用しながら、存分に体を動かす環境が整っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動面や体験活動を充実させる工夫とともに、死角をなくす職員の配置等の安全管理にもより一層尽力していきます。 また、安全面や快適さにも配慮しつつ、お子さまが自由のびのびと過ごせる空間づくりのさらなる改善に取り組んでまいります。
2	多様なおもちゃや教材の活用	<ul style="list-style-type: none"> お子さまの発達段階や興味に合わせておもちゃを選定するとともに、片づけがしやすいようラベリングを行うなど、環境面にも工夫を施しています。 遊びを通じた関わり方や学びの工夫を継続的に行うことで、お子さま一人ひとりに合わせた支援の質を高めています。 	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃや教材が安全に使えるよう、定期的な点検や入れ替えを行い、破損の有無を確認するなど管理の充実に取り組んでまいります。その中で、個々の興味や発達段階に応じた選択肢を増やすことで、より多様な遊びの機会を提供していきます。
3	職員間での細かな情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 日々の申し送りや記録を通して情報共有を行い、職員間でのこまめな声かけや確認により、支援内容の統一を意識した連携に取り組んでいます。 子どもの様子や体調面等、細かなことも共有し、支援に活かせるように毎日ミーティングを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の情報共有や記録の方法を見直し、より効率的で正確な連携ができるよう改善に取り組んでいきます。 さらに、職員間での振り返りや共有の機会を増やすことで、一貫した支援体制をより強化し、チームとしての支援の質の向上を図ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの経験に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 経験の浅いスタッフがいるため、対応や支援内容に差が出やすい状況があります。 新しい業務やケースへの対応経験が十分でないこともあり、スムーズな支援が難しい場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 先輩職員による指導や助言を充実させ、スタッフ全体の経験とスキル向上を図ります。 日々の申し送りやケース検討の機会を増やし、チーム全体での支援の質を高めていきます。 他事業所への見学・体験も視野に入れながら、職員全体で「統一した支援」を目指します。
2	保護者や地域との連携に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会の開催が十分でないため、保護者との情報共有の機会が限られています。 地域との交流の機会も少なく、地域資源の活用や支援の幅に制約がある状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な保護者会の実施や個別面談の充実により、保護者との連携を強化します。 地域との交流イベントや情報共有の機会を増やし、支援の幅や質の向上に取り組めます。
3	清潔で快適な環境づくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> 床が絨毯敷きであるため、清掃や衛生管理の面で限界があり、衛生面に配慮が必要な状況です。 日々の使用による汚れや埃の蓄積が発生しやすく、衛生管理の工夫が欠かせません。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃方法の工夫や定期的なメンテナンスを実施し、衛生環境の維持に努めます。 必要に応じて清掃しやすい素材への部分的な変更や専門業者による清掃も検討し、安心して過ごせる環境を整えます。